

「手作り＊立体布マスク」で 新型コロナウイルス感染対策に取り組みましょう！！

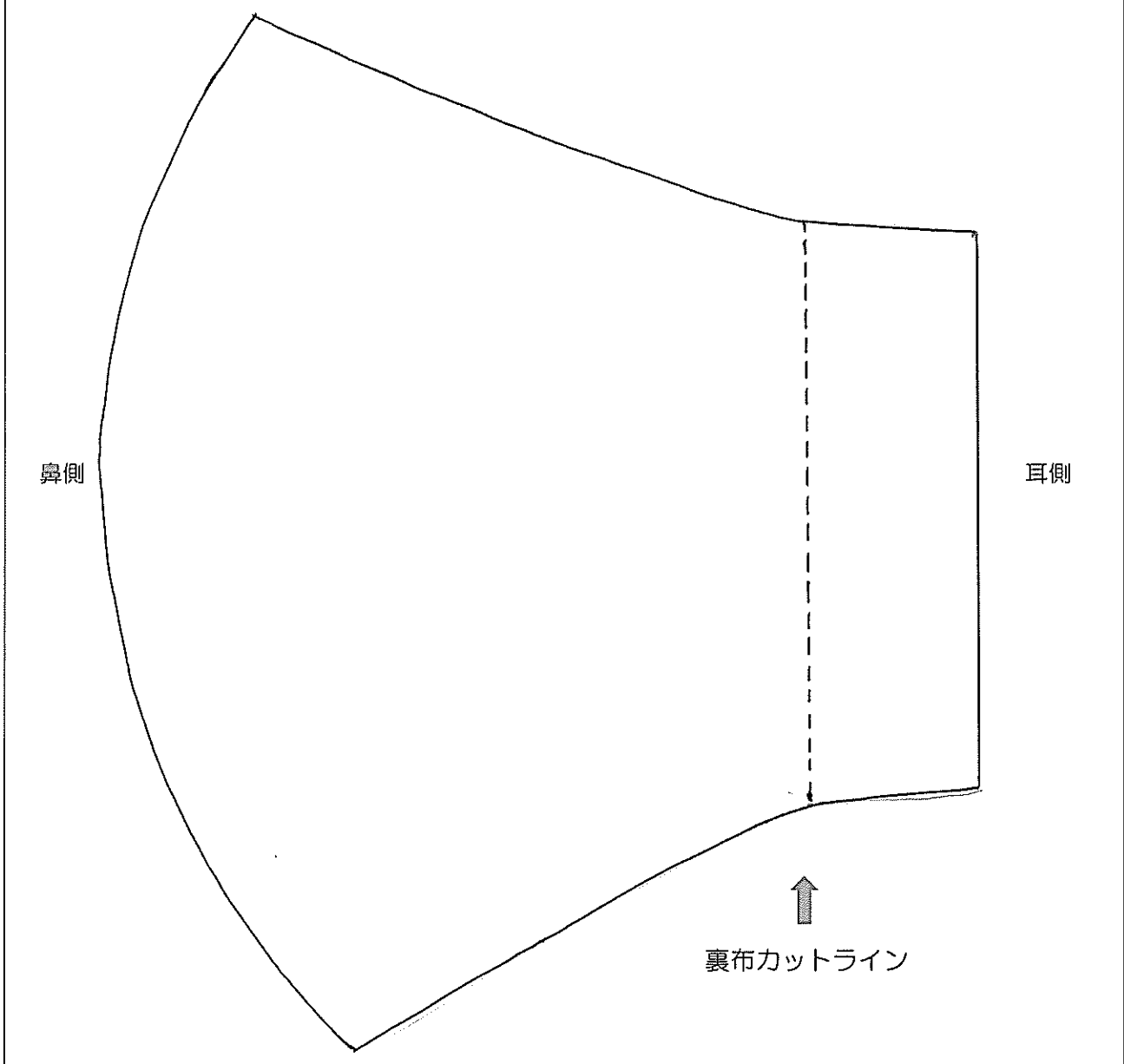
北海道内での患者の発生については、安定傾向にはありますが、まだまだ油断はできません。今後も当面の間は、人混みの中に入る際にはマスクを着用することが大切です。

とはいえ全国各地でマスクが手に入りにくい状況が続いています。そこで手作りマスクの作り方を紹介します。マスクで顔を覆うことで、**感染原因である咳やくしゃみによるウイルスの飛沫を防ぐ効果**や**ウイルスが付着した手で鼻や口を直接触れてしまうことによる感染を防ぐ効果**があります。しかし、注意していただきたいのは、マスクを過信しすぎず、**手洗いの徹底と顔を頻回に手で触れないようにすること**です。

◆立体マスクの作り方

◎ 必要物品 表布、ガーゼ（裏布）、マスクゴム、糸、縫い針、まち針、アイロン

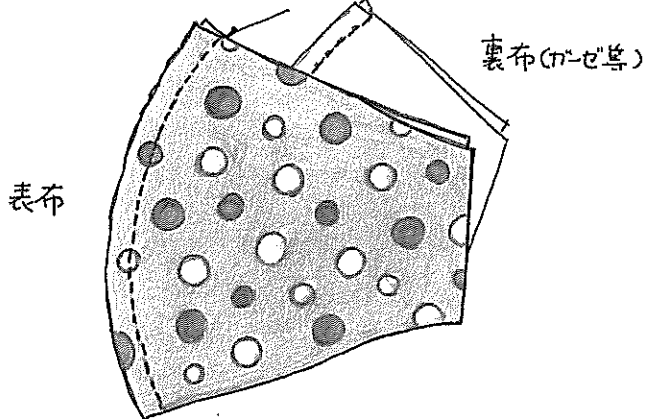
①布を切る 型紙に合わせて表布とガーゼ（裏布）を各2枚、左右対称に裁ちます。裏布（ガーゼ）は表布より2cm短く裁ちます。（下記カットラインを参照）



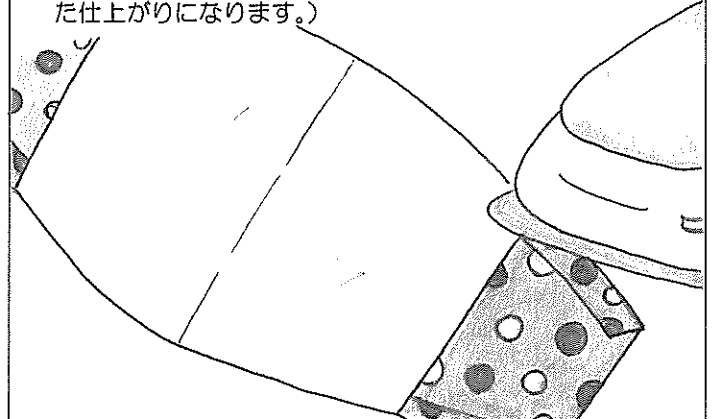
*現寸サイズの型紙（中型用）

※作成手順は裏面につづきます。

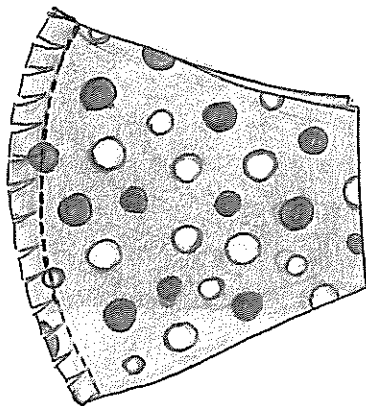
②表布と裏布のそれぞれの布を重ねてマスクの鼻側になる部分を縫う。(縫い代1cm程度)



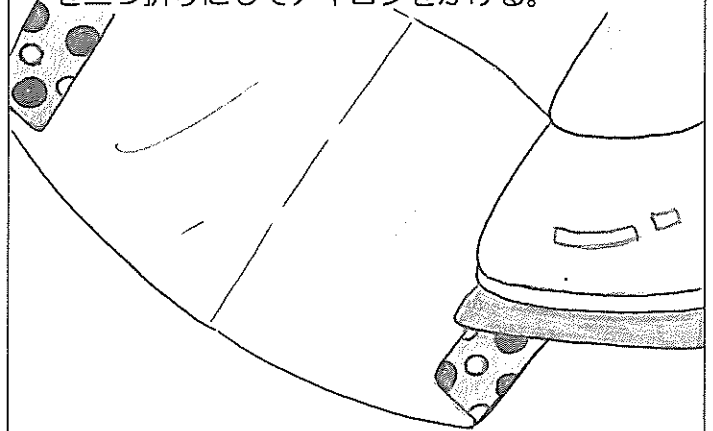
⑥縫い目が内側になるように裏返しにしてアイロンをかける。(端の部分にステッチをかけるとしっかりした仕上がりになります。)



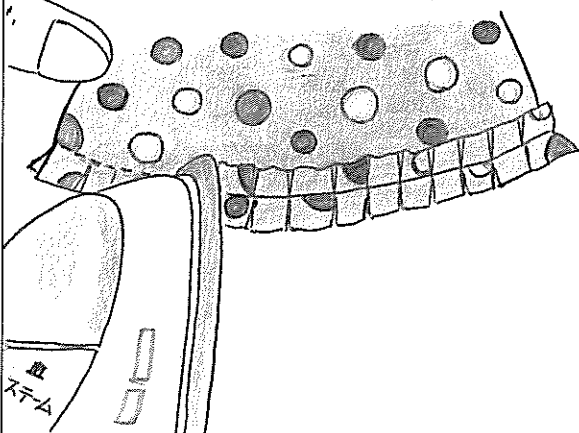
③表布の縫い代部分が開きやすいようにカットを入れる。(ガーゼの縫い代はカットせず手で広げる)



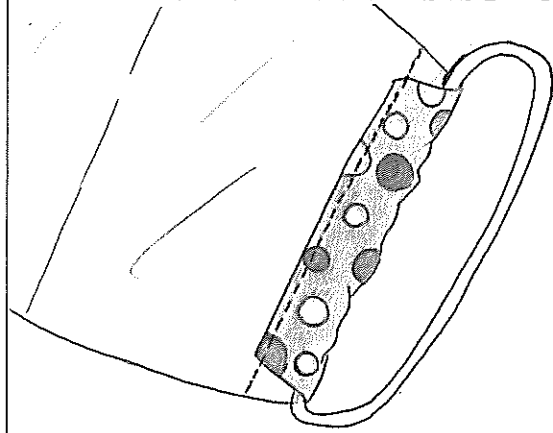
⑦ゴムを通す部分を作るために左右の耳側の部分を三つ折りにしてアイロンをかける。



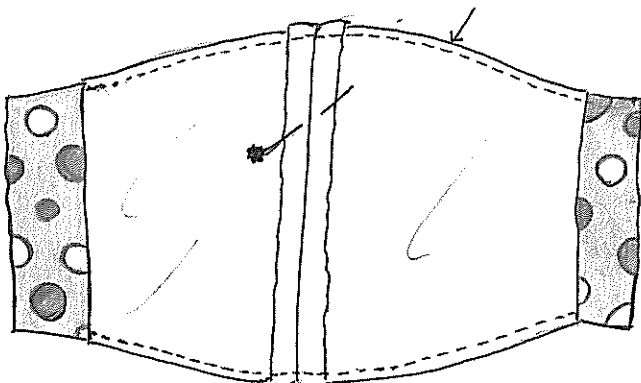
④片面づつ縫い代を開いてアイロンで固定し、布を広げた際に縫い代が左右に開くようにする。



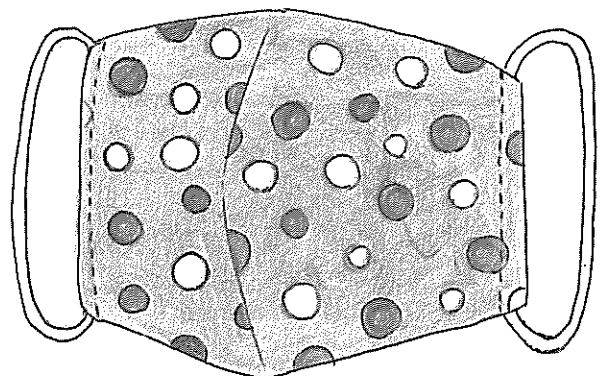
⑧左右の耳側の部分を縫ってゴムを通す。(ゴムの結び目が布の中にくるように移動させる。)



⑤表布と裏布を中表に合わせて中心の縫い目をピタッと合わせてまち針で止め、裏布部分の上下を端から端までを縫う。(縫い代5mm程度)



⑨完成です。



☆所用時間は約20分程度と簡単に作ることができます。ぜひ、皆さんも作ってみてください。